



2022年1月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年9月9日

上場会社名 株式会社シーイーシー 上場取引所 東
 コード番号 9692 URL <https://www.cec-ltd.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大石 仁史
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 中村 義幸 TEL 046-252-4111
 四半期報告書提出予定日 2021年9月10日 配当支払開始予定日 2021年9月30日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年1月期第2四半期の連結業績（2021年2月1日～2021年7月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年1月期第2四半期	22,442	△8.6	2,220	△16.9	2,250	△17.4	1,536	△35.0
2021年1月期第2四半期	24,559	△2.7	2,671	△7.0	2,723	△7.0	2,363	17.8

(注) 包括利益 2022年1月期第2四半期 1,870百万円 (△18.3%) 2021年1月期第2四半期 2,288百万円 (10.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年1月期第2四半期	43.92	43.58
2021年1月期第2四半期	67.57	67.06

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年1月期第2四半期	44,579	35,564	79.4
2021年1月期	43,789	34,379	78.1

(参考) 自己資本 2022年1月期第2四半期 35,377百万円 2021年1月期 34,207百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年1月期	—	20.00	—	20.00	40.00
2022年1月期	—	20.00			
2022年1月期(予想)			—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年1月期の連結業績予想（2021年2月1日～2022年1月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	50,000	4.2	5,200	3.0	5,300	2.7	3,550	△12.0	101.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年1月期2Q	37,600,000株	2021年1月期	37,600,000株
② 期末自己株式数	2022年1月期2Q	2,606,760株	2021年1月期	2,606,720株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年1月期2Q	34,993,271株	2021年1月期2Q	34,979,285株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等について)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】P.3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

当社ホームページ (<https://www.cec-ltd.co.jp>) にて、四半期決算補足説明資料および、オンデマンド方式による動画を2021年9月14日(火)に公開予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2021年2月1日～2021年7月31日)におけるわが国経済は、海外経済の回復を背景に輸出が好調な製造業を中心に回復基調で推移したものの、新型コロナウイルスの変異株による感染再拡大や半導体供給不足の顕在化等により、国内景気の先行きは予断を許さない状況が続いています。

情報サービス産業においては、昨年からのテレワーク環境の整備・強化に向けた需要が一巡した一方、業績悪化を理由に抑制が続いていた企業のICT投資が再開され、特に事業の強化や変革を推進するDX(デジタルトランスフォーメーション)関連の需要が増加しております。

このような情勢下、当社グループは成長路線への回帰を目指し、事業効率のさらなる改善と事業規模拡大を図り、各種課題に取り組んでまいりました。とりわけ、デジタルインダストリー事業では、スマートフォンを利用して位置情報を活用するアプリケーション「PlusLocation™(プラスロケーション)」や、IoT開発支援ツール「ANIoT™(エニオット)」、車載ソフトウェア開発支援サービスなど、新製品やサービスの拡充を図りました。また、サービスインテグレーション事業では、情報発信サイト「ICT未来図」や販促用動画のコンテンツ、オンラインセミナーの拡充、イベントへの積極参加など、コロナ禍におけるデジタルプロモーションの強化を図り、新規顧客開拓および既存顧客の深耕に取り組みました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績については、戦略的ICT領域であるDX、IoT、クラウド分野における需要が活性化し受注残高は改善しているものの、前期における特需案件剥落の反動減の影響や、一部の事業領域では未だICT投資が回復途上にあるため、売上高は224億4千2百万円、前年同期比21億1千7百万円(8.6%)の減となりました。利益面については、減収に伴う利益の減少に加え、一部顧客で発生した不採算案件の影響により、営業利益は22億2千万円、前年同期比4億5千万円(16.9%)の減、経常利益は22億5千万円、前年同期比4億7千2百万円(17.4%)の減となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益については、前期の特別利益剥落により15億3千6百万円、前年同期比8億2千6百万円(35.0%)の減となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

(デジタルインダストリー事業)

デジタルインダストリー事業におきましては、中部地区のモビリティ関連事業が堅調に推移した一方で、既存のシステム開発事業ではICT投資の抑制傾向が継続しました。また、西日本地区、スマートファクトリー事業および製品開発支援サービス事業においては、引き合いが増加傾向もICT予算執行に慎重な状況が継続した結果、売上高は77億9千9百万円、前年同期比6億2百万円(7.2%)の減、営業利益は14億9千8百万円、前年同期比3億1千2百万円(17.2%)の減となりました。

(サービスインテグレーション事業)

サービスインテグレーション事業におきましては、DXやクラウド化推進等のICT投資が活性化し、日本マイクロソフト社との連携ビジネスやマイグレーションサービスを含むシステム開発事業全般が伸長し、前年を超える実績となりました。しかしながら、セキュリティサービス事業およびグループ子会社における前期の特需案件剥落の影響により、売上高は146億4千2百万円、前年同期比15億1千4百万円(9.4%)の減、営業利益は24億6千9百万円、前年同期比8千6百万円(3.4%)の減となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

総資産の残高は445億7千9百万円となり、前連結会計年度末と比較して7億8千9百万円の増加となりました。これは、おもに現金及び預金が12億2千5百万円増加したことなどによるものです。

(負債)

負債の残高は90億1千5百万円となり、前連結会計年度末と比較して3億9千5百万円の減少となりました。これは、おもに流動負債その他に含まれる未払消費税等が4億8千4百万円減少したことなどによるものです。

(純資産)

純資産の残高は355億6千4百万円となり、前連結会計年度末と比較して11億8千5百万円の増加となりました。これは、おもに利益剰余金が8億3千7百万円増加したことや、退職給付に係る調整累計額が1億9千2百万円増加したことなどによるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」）は、222億4千6百万円と前連結会計年度末と比較して12億2千5百万円増加となりました。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動による資金の増加は24億3千7百万円（前年同期比7億4千8百万円の収入減）となりました。これはおもに税金等調整前四半期純利益22億4千7百万円などによるものです。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動による資金の減少は5億4百万円（前年同期比2億6千9百万円の支出増）となりました。これはおもに固定資産の取得による支出5億2百万円などによるものです。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動による資金の減少は7億1千2百万円（前年同期比0百万円の支出増）となりました。これはおもに配当金の支払額6億9千8百万円などによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年1月期の連結業績予想につきましては、2021年3月12日に公表しました業績予想に変更はございません。今後の状況や事業動向等を踏まえ、業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに開示いたします。
※業績予想の数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は業況の変化等により予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年1月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,020,684	22,246,218
受取手形及び売掛金	10,452,560	9,011,397
商品	155,099	238,425
仕掛品	548,030	631,471
未収入金	8,915	14,663
その他	911,438	946,870
貸倒引当金	△10,467	△8,354
流動資産合計	33,086,261	33,080,692
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,388,957	3,252,438
土地	2,004,644	2,004,644
その他（純額）	753,496	1,064,398
有形固定資産合計	6,147,098	6,321,480
無形固定資産		
その他	260,851	261,047
無形固定資産合計	260,851	261,047
投資その他の資産		
その他	4,347,561	4,968,533
貸倒引当金	△52,058	△52,058
投資その他の資産合計	4,295,503	4,916,475
固定資産合計	10,703,453	11,499,003
資産合計	43,789,715	44,579,696

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年1月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年7月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,151,065	2,702,133
短期借入金	350,000	350,000
1年内返済予定の長期借入金	13,600	13,600
未払法人税等	699,348	803,856
賞与引当金	501,479	578,017
受注損失引当金	5,950	110,544
その他	3,549,375	3,221,140
流動負債合計	8,270,819	7,779,292
固定負債		
長期借入金	41,000	27,400
長期末払金	487,095	487,095
役員退職慰労引当金	25,219	14,854
退職給付に係る負債	114,310	119,911
資産除去債務	462,325	467,734
その他	9,941	118,971
固定負債合計	1,139,892	1,235,967
負債合計	9,410,712	9,015,260
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,586,000	6,586,000
資本剰余金	6,733,706	6,733,706
利益剰余金	21,799,669	22,636,751
自己株式	△1,663,477	△1,663,539
株主資本合計	33,455,898	34,292,917
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	583,714	718,183
為替換算調整勘定	△12,071	△6,065
退職給付に係る調整累計額	180,130	372,726
その他の包括利益累計額合計	751,773	1,084,845
新株予約権	171,331	186,672
純資産合計	34,379,003	35,564,435
負債純資産合計	43,789,715	44,579,696

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年2月1日 至 2020年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年2月1日 至 2021年7月31日)
売上高	24,559,613	22,442,396
売上原価	18,654,509	16,872,824
売上総利益	5,905,103	5,569,571
販売費及び一般管理費	3,233,991	3,349,181
営業利益	2,671,112	2,220,390
営業外収益		
受取利息	1,335	1,150
受取配当金	14,566	15,579
為替差益	721	—
保険配当金	11,275	—
貸倒引当金戻入額	208	2,581
受取補償金	—	2,771
受取保険金	20,000	—
その他	11,291	12,353
営業外収益合計	59,398	34,436
営業外費用		
支払利息	2,197	1,943
為替差損	—	2,107
持分法による投資損失	4,275	—
その他	906	329
営業外費用合計	7,380	4,380
経常利益	2,723,131	2,250,445
特別利益		
投資有価証券売却益	865	1,395
固定資産売却益	—	6
特別受取金	530,698	—
特別利益合計	531,564	1,402
特別損失		
固定資産除却損	288	2,598
投資有価証券評価損	32,550	—
投資有価証券売却損	4,590	1,269
特別損失合計	37,428	3,867
税金等調整前四半期純利益	3,217,267	2,247,981
法人税、住民税及び事業税	848,581	740,942
法人税等調整額	4,985	△29,908
法人税等合計	853,567	711,034
四半期純利益	2,363,699	1,536,947
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,363,699	1,536,947

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年2月1日 至 2020年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年2月1日 至 2021年7月31日)
四半期純利益	2,363,699	1,536,947
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	98,424	134,469
為替換算調整勘定	△2,841	6,005
退職給付に係る調整額	△170,598	192,596
その他の包括利益合計	△75,015	333,071
四半期包括利益	2,288,684	1,870,018
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,288,684	1,870,018

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年2月1日 至 2020年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年2月1日 至 2021年7月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,217,267	2,247,981
減価償却費	347,488	338,544
賞与引当金の増減額 (△は減少)	53,817	75,836
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	4,896	104,593
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	2,241	△10,365
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△102,172	5,601
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△21,474	△156,818
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	4,098	△2,112
受取利息及び受取配当金	△15,901	△16,730
支払利息	2,197	1,943
持分法による投資損益 (△は益)	4,275	—
固定資産売却損益 (△は益)	—	△6
固定資産除却損	288	2,598
投資有価証券売却損益 (△は益)	3,724	△126
投資有価証券評価損益 (△は益)	32,550	—
前受金の増減額 (△は減少)	228,930	221,865
売上債権の増減額 (△は増加)	1,219,127	1,442,236
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△18,864	△167,702
未収入金の増減額 (△は増加)	8,626	△5,748
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	56,535	△33,945
仕入債務の増減額 (△は減少)	△210,439	△449,185
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△5,569	△484,092
未払金の増減額 (△は減少)	△213,936	△106,563
未払費用の増減額 (△は減少)	△70,240	45,197
長期未払金の増減額 (△は減少)	△26,507	—
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△556,824	△20,377
その他	35,202	27,653
小計	3,979,338	3,060,277
利息及び配当金の受取額	15,901	16,729
利息の支払額	△2,203	△1,957
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△807,055	△638,039
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,185,980	2,437,010

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年2月1日 至 2020年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年2月1日 至 2021年7月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△235,217	△502,471
固定資産の売却による収入	—	6
資産除去債務の履行による支出	△744	△1,144
敷金及び保証金の差入による支出	△15,361	△14,440
敷金及び保証金の回収による収入	1,446	4,797
投資有価証券の売却による収入	5,756	8,790
関係会社株式の売却による収入	8,889	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△235,231	△504,461
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△13,600	△13,600
自己株式の取得による支出	—	△62
配当金の支払額	△698,062	△698,903
財務活動によるキャッシュ・フロー	△711,662	△712,566
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,205	5,551
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,236,881	1,225,534
現金及び現金同等物の期首残高	17,550,208	21,020,684
現金及び現金同等物の四半期末残高	19,787,090	22,246,218

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間（自 2020年2月1日 至 2020年7月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	合計 (注) 2
	デジタルインダストリー事業	サービスインテグレーション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,402,359	16,157,253	24,559,613	—	24,559,613
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,739	246,569	248,308	△248,308	—
計	8,404,099	16,403,822	24,807,922	△248,308	24,559,613
セグメント利益	1,810,723	2,556,408	4,367,131	△1,696,018	2,671,112

(注) 1 セグメント利益の調整額△1,696,018千円は、主に報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間（自 2021年2月1日 至 2021年7月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	合計 (注) 2
	デジタルインダストリー事業	サービスインテグレーション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,799,497	14,642,898	22,442,396	—	22,442,396
セグメント間の内部売上高又は振替高	199	255,875	256,074	△256,074	—
計	7,799,696	14,898,774	22,698,470	△256,074	22,442,396
セグメント利益	1,498,404	2,469,626	3,968,030	△1,747,640	2,220,390

(注) 1 セグメント利益の調整額△1,747,640千円は、主に報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。